

当院における検査値(処方箋記載の項目)の基準値

項目名	正式名称	説明	基準となる値	
WBC	白血球数	体外から侵入する細菌やウイルスと戦ったり、免疫やアレルギーに関連した様々な働きをします。また、薬の副作用で減少することがあります。好中球・好酸球・好塩基球・単球・リンパ球の五種類の細胞からなり、比率の違いは病態の把握に役立ちます。	3500~9700	/μℓ
Hb	ヘモグロビン	鉄分の不足などによる貧血や多血症の診断根拠となります	男:13.6~18.3 女:11.2~15.2	g/dℓ
Plt	血小板数	出血した時に、集まって出血を止める働きをします。低下すると、あざや出血がおこりやすくなります。	140~379	千/μℓ
T-Bil	総ビリルビン	肝臓で作られ、胆のう、十二指腸、便という経路で体から排泄されます。その途中で障害があると数値が高くなります。黄疸の指標です。	0.3~1.2	mg/dℓ
AST	アスパラギンアミノトランスフェラーゼ	主に肝臓、心臓、骨格筋の細胞の中にある酵素です。これらの臓器に障害が起こり細胞が壊れると、数値が上昇します。	10~40	IU/ℓ
ALT	アラニンアミノトランスフェラーゼ	肝臓の細胞中に含まれる酵素で、肝臓に障害があるとき増加します。肝臓の異常以外で上昇することはほとんどありません。	5~45	IU/ℓ
BUN	尿素窒素	食物中のタンパク質などが代謝された後に出来る、窒素を含む老廃物です。腎臓や肝臓の機能の障害や脱水症状・タンパク質の過剰な摂取によって値が高くなります。	8~20	mg/dℓ
Cr	クレアチニン	腎臓の機能が低下すると尿中への排泄が減少し、血液中に増加します。腎臓機能の指標となります。	男:0.65~1.09 女:0.46~0.82	mg/dℓ
eGFR	estimated GFR	血清クレアチニン値を基に推算された糸球体濾過量。CKDの重症度を分類する為の指標となっている。 男性 : $eGFR(mL/分/1.73m^2) = 194 \times Cr^{-1.094} \times 年齢^{-0.287}$ ※女性は×0.739		
Ccr	クレアチニン・クリアランス	腎臓からクレアチニンがどれだけ濾過されて尿中に出てくるかを示す値 推算式 【Cockcroft and Gaultの式】を使用 $eCCr = \{(140 - 年齢) \times 体重(kg)\} / (72 \times 血清Cr(mg/dL))$ 女性は×0.85		
PT-INR	プロトロンビン時間 国際標準比	血液の凝固能を示すための検査値であり、高い値ほど凝固時間が延長している	0.90~1.13	